



【理工学生向け】

日本学術振興会 特別研究員 説明会

理工センター研究総合支援課

特別研究員担当 安藤 之長



本日の配布資料

1. スライド
2. 応募書類一式
3. 参考資料
4. 採用者の声
5. 特別研究員チラシ(研究者を目指す皆さんへ)
6. 若手研究者海外挑戦プログラム(スライド・チラシ)
7. アンケート



本日の流れ

- **制度の概要**
- **応募の詳細・採用実績**
- **研究業績の必要性**
- **応募するにあたって(支援)**



特別研究員とは・・・

- ◆ 「日本学術振興会 (JSPS)」 (通称:学振) の運営事業
- ◆ 優れた若手研究者に、自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら研究に専念する機会を与えることで、研究者の養成を図る制度
- ◆ 博士課程に在籍しつつ、研究者としてのキャリアを積むことができます！



特別研究員になるメリット

- ◆ 研究者として大きなキャリアとなる！
※特別研究員DC終了の10年後、90.9%の方が常勤の研究職に就いています(学振の調査の結果)。
- ◆ 研究に専念できる環境が手に入る！
研究費・奨励金の支給があります。
- ◆ 後の研究費応募・執行のためのデモンストレーション
応募書類を作成する際の文章力や、自分の研究内容を対外に発信する練習となります。



特別研究員奨励費・研究奨励金

◆ 特別研究員奨励費

特別研究員に採用された場合、研究を行うための費用として、**年間最大150万円**が交付されます！

奨励費は研究に必要な経費のみに使用が可能であり、自身の研究を主体的に進めることが可能です！

◆ 研究奨励金

特別研究員に採用された場合、**月額20万円**の研究奨励金が支払われます！この奨励金は、個人の収入という扱いのため使用用途は自由であり、これによりアルバイト等をせずに研究に専念できます！



研究費の用途

- ◆ 試薬・物品（書籍・文房具・機械器具・部品等）
- ◆ 旅費（国内外における研究に係る出張等の交通費・宿泊代・日当等）
- ◆ 学会参加費・年会費
- ◆ 修繕費
- ◆ 論文校正
- ◆ 施設利用
- ◆ 謝金

上記以外のものでも、研究費施行上必要なものへの支出は基本的に使用可能です！



特別研究員の制約事項

- ◆ 特別研究員以外の役職を持つことができない。
- ◆ アルバイト等による給与・謝金（報酬）の受け取りが原則禁止となります。
※一定の条件を満たす場合に限り受給ができる場合もあります。
詳細については以下をご確認下さい。
https://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_tebiki.html
- ◆ 国内外問わず、その他のフェローシップや奨学金を受給できない。
※既に日本学生支援機構奨学金等を受給している場合でも採用時に廃止手続きを行う必要がある。
- ◆ 留学やインターンシップへの参加ができない。
研究遂行目的や研究計画の実施のための手助けとなる場合を除き不可となります。



DC採用者支援奨学金

基本的に奨学金は受給できませんが、例外として「**DC採用者支援奨学金**」という学内奨学金を受給することができます。本奨学金の年額は**60万円(予定)**で給付型の奨学金のため、返済義務はありません。全てのDC1、DC2採用者が対象であり、申請を怠らない限りにおいて必ず受給できます！

※例年6月末までに対象者には奨学課より案内があります。



応募の詳細 ～応募区分～

◆ DC1

【対象】

2020年度4月の時点でD1の方
(2019年度M2)

※2019年9月に修士課程の修了を
予定されている方も、2019年5月
の応募の対象になります。

【採用期間】

2020年度から3年間

◆ DC2

【対象】

2020年度4月の時点でD2・D3の方
(2019年度D1,D2)

【採用期間】

2020年度から2年間
就職した場合は、特別研究員は辞退
となり、別途手続きが必要となります。

※DC1・2とも、修了後の資格はPDへ変更可となります。(奨励金は20万のまま)



応募の詳細～応募書類の記入事項～

1. 電子申請システムより入力(氏名、経歴など)
2. 現在までの研究状況(1.5ページ)
3. これからの研究計画(3.5ページ)
4. 研究成果等(1ページ)
5. 研究者を志望する動機、目指す研究者像、自己の長所等(1ページ)

+

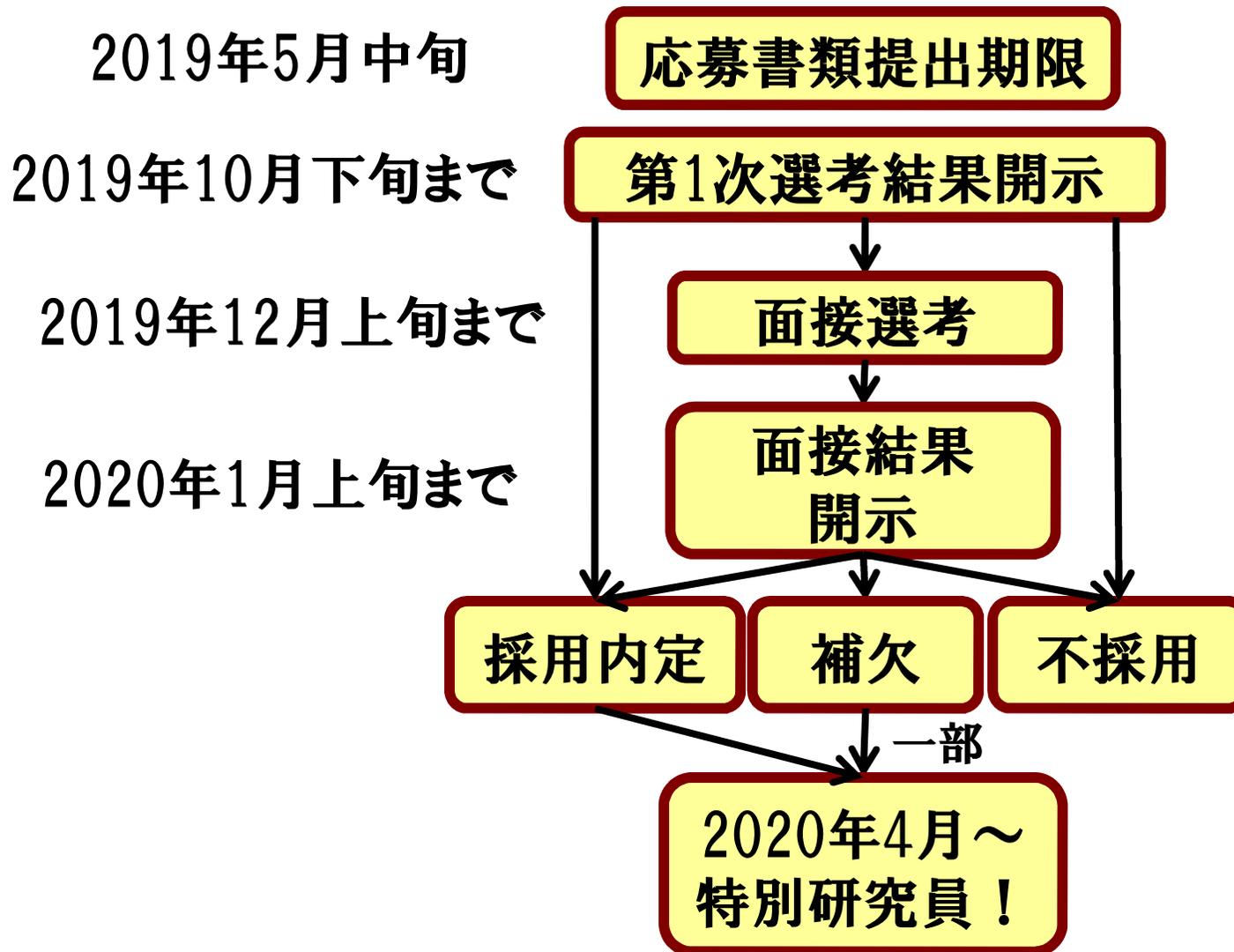
受入教員による評価書(web入力)

実際の書式は以下より確認できます。

URL: http://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_sin.html



応募の詳細 ～応募の流れ～





応募の詳細 ～応募の流れ～

2019年4月中旬(予定)まで: ID発行申請

⇒申請様式を下記へ提出(メール提出可)

※ http://www.renkeika.sci.waseda.ac.jp/sp_researcher/ で公開

〈提出先〉

55号館S棟1Fエレベーター奥 特別研究員担当

Email: gkaken-riko@list.waseda.jp (内線:73-6541)

2019年5月中旬(予定)まで: 応募書類送信

⇒学振のwebシステムでの送信。紙媒体の提出は一切ありません。

「受入教員の評価書」の作成に時間がかかる可能性も踏まえ、

早め早めの準備が重要になります。

※例年評価書が間に合わず、申請できない場合があります。



【過去3年分】採用実績

2019年度採用 特別研究員採択率

大学全体			理工		
	DC2	DC1		DC2	DC1
応募	140	101	応募	63	61
内定	32	21	内定	16	16
面接	4	8	面接	1	4
不採用A	19	15	不採用A	12	10
不採用B	31	22	不採用B	13	14
不採用C	54	35	不採用C	21	17
採択率	22.9%	20.8%	採択率	25.4%	26.2%

2018年度採用 特別研究員採択率

大学全体			理工		
	DC2	DC1		DC2	DC1
応募	137	92	応募	56	54
内定	38	12	内定	19	6
面接(採用)	4(3)	7(5)	面接(採用)	2(2)	3(2)
不採用A	21	13	不採用A	10	7
不採用B	23	25	不採用B	8	14
不採用C	51	35	不採用C	17	24
採択率 (面接結果含まない)	28%	13%	採択率 (面接結果含まない)	34%	11%
採択率	29.9%	18.5%	採択率	37.5%	14.8%

全国(2018年)		
	DC2	DC1
応募	5391	3375
内定	1095	695
採択率	20.3%	20.6%

2017年度採用 採択結果

大学全体			理工		
	DC2	DC1		DC2	DC1
応募	135	92	応募	59	41
内定	20	15	内定	9	6
面接(採用)	8(7)	6(3)	面接(採用)	5(4)	3(1)
不採用A	27	14	不採用A	14	10
不採用B	34	30	不採用B	15	12
不採用C	46	27	不採用C	16	10
採択率 (面接結果含まない)	15%	16%	採択率 (面接結果含まない)	15%	15%
採択率	20.0%	19.6%	採択率	22.0%	17.1%

全国データ(2017年)		
	DC2	DC1
応募	5329	3343
内定	1092	692
採択率	20.5%	20.7%



研究業績の必要性

DCについては研究経験が少ないことから、研究者としての研究能力・将来性を重視

(学振のホームページより抜粋)

しかし、研究能力をアピールするためには業績欄が効果的。

⇒普段から積極的に学会発表や論文を投稿することが重要。

⇒学部生の場合、早い段階から業績を積み上げることを意識。

採用結果と業績の関係性は？(次スライド)



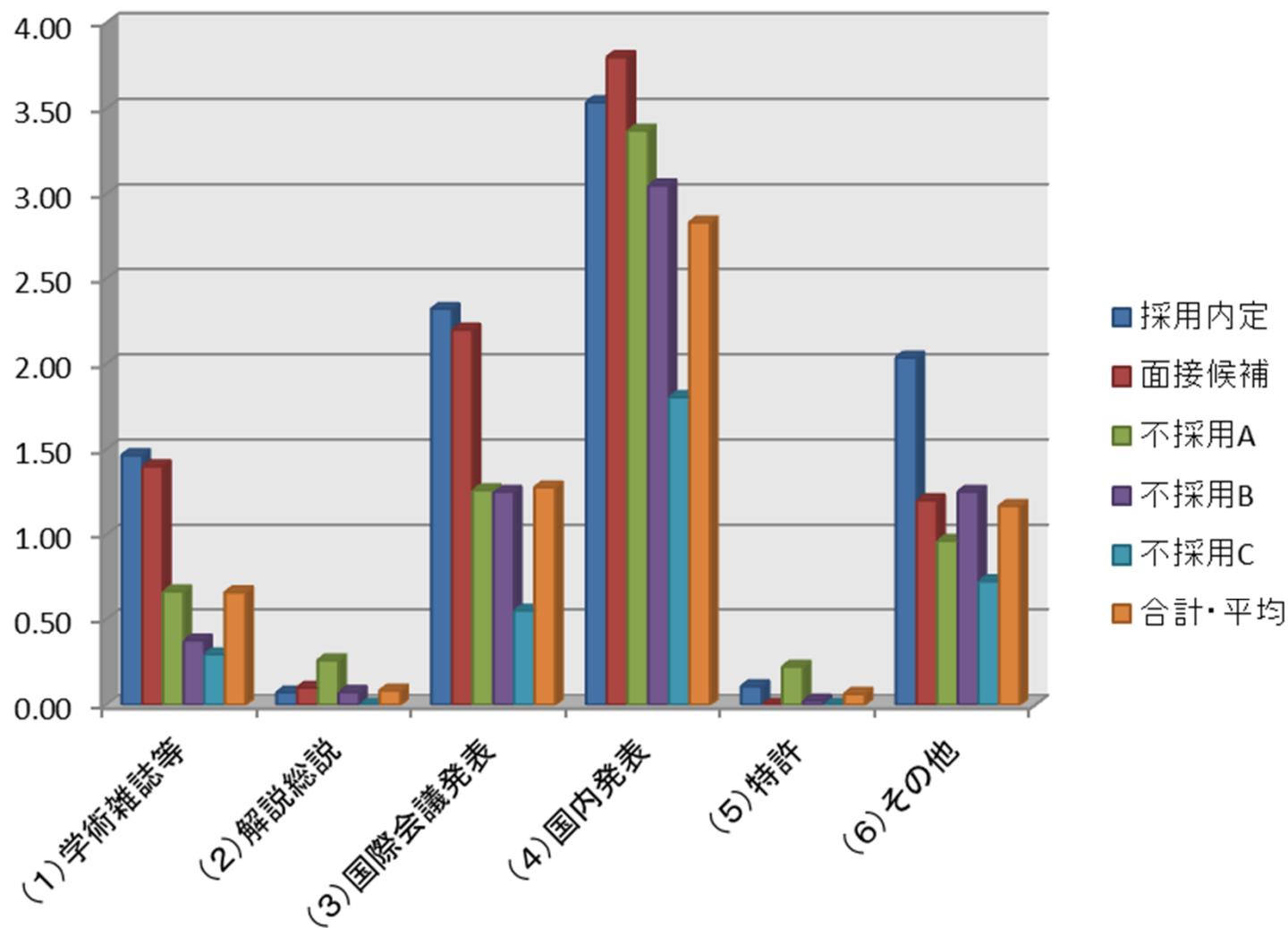
研究業績の必要性(過去3年平均件数)

DC1	人数	(1)学術 雑誌等	(2)解説 総説	(3)国際 会議発表	(4)国内 発表	(5)特許	(6)その他	業績 合計数
採用内定	28	1.46	0.07	2.32	3.54	0.11	2.04	7.57
面接候補	10	1.4	0.1	2.2	3.8	0	1.2	7.2
不採用A	27	0.67	0.26	1.26	3.37	0.22	0.96	5.81
不採用B	40	0.38	0.08	1.25	3.05	0.03	1.25	5.45
不採用C	51	0.29	0.00	0.55	1.80	0.00	0.73	3.16
合計・平均	156	0.66	0.08	1.28	2.83	0.06	1.17	5.26

- ◆ 採用件数と業績の数には相関関係がある。
※ただし中には業績が1件だけで採用になる場合もある(例年1件程度)
- ◆ 学術雑誌への投稿、国際発表等は、全体的にも見ても件数が少ないため、業績欄に書くことができると優位に立てる。
※逆に国内発表は件数も多いため、一定以上ある場合はあまり差はつかない
- ◆ 業績欄では、書けるものは全て書き、欄を埋めることも重要。



DC1 グラフ





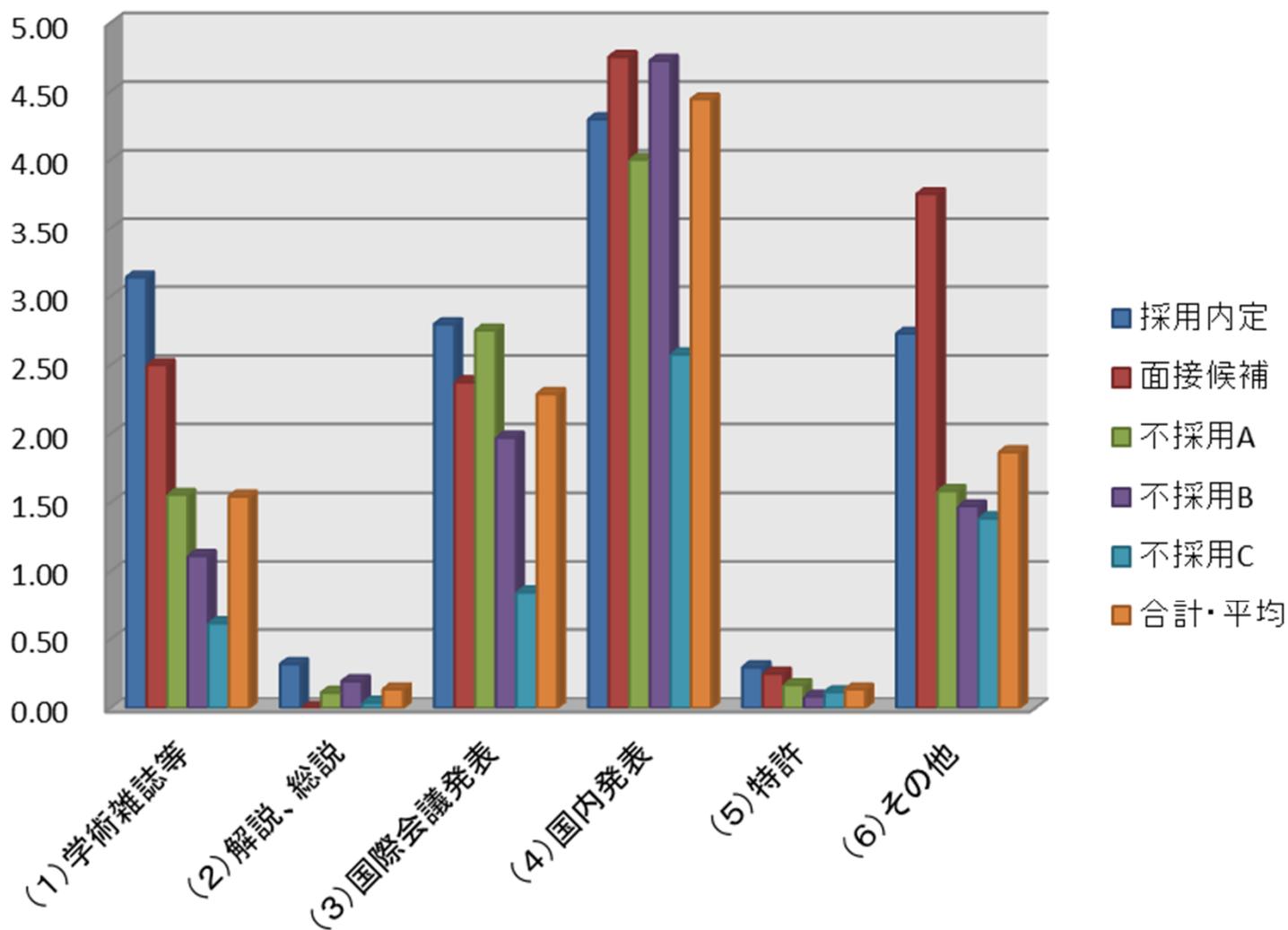
研究業績の必要性(過去3年平均件数)

DC2	人数	(1) 学術 雑誌等	(2) 解説 総説	(3) 国際 会議発表	(4) 国内 発表	(5) 特許	(6) その他	業績 合計数
採用内定	44	3.14	0.32	2.80	4.30	0.30	2.73	13.57
面接候補	8	2.50	0.00	2.38	4.75	0.25	3.75	13.63
不採用A	36	1.56	0.11	2.75	4.00	0.17	1.58	10.17
不採用B	36	1.11	0.19	1.97	4.72	0.08	1.47	9.56
不採用C	54	0.62	0.04	0.85	2.58	0.12	1.38	5.37
合計・平均	178	1.54	0.14	2.29	4.44	0.14	1.86	10.41

- ◆ DC1同様、採用件数と業績の数には相関関係がある。
※特に学術雑誌への投稿の有無に差が顕著である。
- ◆ 業績が採用内定者よりも多い人が増えてくるため、より内容が重要に。
※文章力や伝え方(文章内での強弱や一貫性)等で明暗が分かれるかもしれません。
- ◆ まずは平均以上の業績件数を目指しましょう!



DC2 グラフ





応募するにあたって～申請書記入上の注意点～

- ◆ **空きスペースは作らない！**
 - ・審査員にアピールするための場を最大限に活用
 - ・びっしり書いたとしても、見にくくなるのはNG
- ◆ **図表や見出しなどを使って、見やすい構成に！**
 - ・多忙な審査員を、まず読む気にさせることが大事
- ◆ **少し大きさにアピールする！**
 - ・研究テーマの社会的意義・効果、学術的重要性をアピール
- ◆ **指導教員や先輩など、いろいろな人に見てもらおう！**
 - ・多くの場合、専門から少し離れた分野の研究者が審査員に
 - ・誰が読んでも伝わりやすい文章が大事



よくある質問

- ◆ 一旦アップロードを完了した応募書類を修正したい(学内送信期限前)
⇒送信期限前であれば、修正可能です。下記までご連絡ください。
- ◆ 送信期限後に論文が受理され、応募書類の業績欄を修正したい
⇒このような可能性がある場合、予め下記までご相談ください。個別に対応いたします。
- ◆ 過去に応募したことがあり、IDを取得済だが、そのIDでログインできない
⇒一定期間ログインがないと、パスワードが無効化されてしまいます。
パスワードを再設定しますので、お名前・生年月日を下記までご連絡ください。
- ◆ 応募手順をまとめた冊子などがあるか？
⇒研究推進部、並びに研究総合支援課のHP上で公開(予定)しております。
<https://waseda-research-portal.jp/public-fund/jsps/2/> (研究推進部)
http://www.renkeika.sci.waseda.ac.jp/sp_researcher/index.html (研究総合支援課)



応募に向けての支援

◆ 研究推進部による説明会

- 講演者: 審査員経験者の先生と特別研究員採用者
- 開催日時: 2019年3月20日(水) 時間未定
- テーマ: 効果的な応募書類の書き方等、申請に向けたアドバイス
詳細は、下記HP等にて別途ご案内いたします。

◆ 実際の採用者の応募書類の開示

- 「所属」「氏名」「応募区分(DC1など)」「領域」「分科」を
rfys@list.waseda.jp (研究支援課)までご連絡ください。
- ※「領域」「分科」によっては対応できない場合があります。

◆ 理工センター研究総合支援課、研究推進部 ホームページ

- http://www.renkeika.sci.waseda.ac.jp/sp_researcher/ (研究総合支援課)
最新の情報のみならず、過去の情報も発信しています。
- <https://waseda-research-portal.jp/public-fund/jsps/2/> (研究推進部)
実際の応募に際してはこちらをご覧ください。



ご清聴ありがとうございました！